…鐵所再び罷業す

誠意なしとして各組合氣脈を通じ
一齊に工場を放棄して各所に集會
…の煙突は又復煙を斷てり
不穩の氣全市に漲り爲に人心恟々

…二十三日夜より怠業を斷行し形勢頗る重…警察部長は小原福岡署長以下多數の警部…急行し憲兵隊と協力して嚴重警戒中なり…て其の首謀者を失ひたると且つは官憲の鎭壓手段強かりし所にては又復二十四日午前六時に至り職工、五千人は一齊に業務を抛ち一同中央區…軌發電所前廣場に集合し大示…あり是れがため七十餘の各工場は閉…の煙筒より吐き出す濛々たる黑煙は忽ち…を惹起しつゝあり（八幡電話）

…に憤慨せり…より罷業…に宣傳す

夜勤を終へて…宿せんとする…工等も一同之に和し作業服…盡各工場を巡…し悲痛なる演…を試み忽ちにして構内…有餘の各工場の職工等は業務…擲棄て「ワツショ〳〵」と喊聲…のあり

を擧げつゝ三々伍々隊を組んで構外に出で各工場は遂に一時に運轉を中止し五百有餘の煙突は一時に煙を絶ちたり斯の如くにして八幡製鐵所は去る五日の同盟罷業の如く光景慘澹たる有樣を演ぜるが各工場より押寄せたる一萬數千の職工等は各門に殺到し之れを防がんとする守衞等と衝突して格鬪するものあり遂には門扉を破るもの職札入箱等を破壞するも…

喊聲を揚げて

市中を示威運動
當局の警戒手配と狼狽

…の吹笛をものともせず南門…出でたる職工は豐山公園に、…門より出でたるものは中央區…現山下の九軌發電所前大廣場…合し各自悲痛なる當局攻撃演説…開始し形勢益不穩なるもの…同には豐山公園に集合したる職工等は擁現山下九軌發電所前に集合したる職工等と相合し午前十一時に至り二萬人内外の多數となり時々喊聲

…雲尼公御容態

稍御良好

見舞客で大混雜

…なる京都…御…尼公は日々中西博士の診察を…て居られるが、御重態の報一…同胞の許に達するや東伏見宮、…宮内事務官、閑院宮附松井…事務官は台命を奉じて入洛し…の御病床を御見舞申上げたる…の在京の賀陽、久邇兩宮より…二御見舞ありて訪問客のため辻家從初め係員は忙殺せられて居る、辻家從の談によれば

尼公今回の御病狀に就いては本日（二十四日）も中西博士の往診があつて其診斷によると輕微なる腦溢血に尿毒性を併發せられたので、日頃は至つて御壯健であるのですが、殊に一昨二十二日は餘程お惡くて意識不明で昏睡狀態が幾日せられ二十三日に至つて稍々御容態も宜しく御意識も明瞭となりましたが、然るにそれ程く宜しい樣に拜して居るが本日云々だこて中々安心は出來ません

右の如く尼公の御容態は較々良好なるにより滯京中の松井、高階兩事務官は二十四日夜一先づ歸東すべしと

内外信託新のみ更に四圓方安く大に舊四圓五十錢高、新五圓十錢高打止めたり▲大株は橋本、芝大、惣の乘換へ澁川、八田賣り聲、石井の…乙部の提株は一向見るべき手口なかりき

▲株式引跡氣配

…みとなりて十七圓五十錢臺の唱へなりき

綿絲引跡氣配

月物六百五十七圓、七、八、九月物六百三十五六圓臺を唱へ正午に比し五六圓高を示せり

▲重なる手口

…佐の…十五、前長、堀井三十五、齋志三十、松村二十五枚（賣）八木重九十五、伊藤秀八十、山田、日比野廿五、西川廿枚▲五限（賣）堀井七十五、齋志六十五、…五、松村、西岡、中安二十枚（買）井上、川西九十、木下五十五、伊藤秀四十五、山田、野口、八木重三十五、岩近、日比野三十、島津、濱二十五、福井二十枚▲先限（賣）堀井百五十、島津百三十…

惡性に化す

殆ど暴動に近し

…を擧げつゝあり…又友愛會九州支部長…又六氏は…友愛會の旗を翻して此等職工の…

福岡縣廳に達したる情報によれば八幡製鐵所は二十四日早朝に至り又々不穩の形勢あり午前六時職工の交代に際し職工の一團五十餘名暴動團となり中央機關場を始め各工場の作業中止を強要し其の數次第に增加し午前八時半には六百餘名に達し事務所を始め各方面に投石して窓硝子を破壞し演説を爲し遂に其の數二千餘名に達し午前十時頃より八幡市豐山公園に集合の目的を以て製鐵所外に出で鬨の聲を擧げながら練歩き其の形勢頗る險惡にして益不穩の狀を呈せり製鐵所内の機關場は未だ破壞さるゝに至らざるも

熔鑛爐は休風

市内は丸で戰場の如し

熔鑛爐は午前六時より休風の儘なり中央機關場の機關中約四十分作業を中止したるものあるも第二機關場は異狀なきが如し而して群集の職工の一團は午前十時九軌中央停留所と春町停留所の中間製鐵所病院下に集合し鼻下に髭のある男は大聲を發して演説を爲し又他の一團は同所附近に於て九軌電車の窓硝子を破壞し益猛り立てんとするより八幡署を始め小倉若松署等より應援出動せる警官隊が之を中止せんとするも聽ぜず小倉憲兵隊よりも憲兵出動し之が爲八幡市内は恰も戰場の如く大混亂を爲しつつあり爲に製鐵所にては石炭の輸送を一時中止され度き旨門司鐵道管理局へ申出でたり（福岡電話）

…ス機二臺出發

陸軍省着電=二月十五日スヴア機二臺福馬を出發したり（二月十日午後四時在福馬仙波中佐發）

…先頭に立ち八幡市内を練り歩き大示威運動を試みつゝあり、之れがため八幡市中は大混雜に陷たり、一方八幡製鐵所の當局者は餘りのことに狼狽なす所を知らず各高等官等は協議中にして取敢ず管内の各警察署に電話を打ち救援を求め且つ小倉、門司、若松の各警察署よりは多數の警官時を移さず現場に馳せつけ又小倉憲兵隊よりも多數の憲兵現場に驅けつけ目下嚴重警戒中なり（八幡電話）

白仁長官驚く

早速調べて見やう

八幡製鐵所事件再燃の報を齎して議會政府委員室に白仁長官を訪へば甚だしく驚愕の色を浮べ「そんな電報は未だ接受して居ない、事實ならば大變なことである、併し假令騷ぎが再び起つたからと云つて遂に發表した回答を直に改めると云ふことは考へては居らぬ、何れにしても一刻も早く再開業の狀況を調べて見ねばならぬ、多分出張所の方へは何とか言つて來てるだらうから……と急ぎ俥を驅り取る物も取り敢ず農商務省構内の製鐵所出張所へ向つた間もなく出て來て再び語る『此の前問題の起つた時私は歸つて職工代表者に朝夕のやうに會つた其の問題も略解決したので再び上京したやうな譯だが其の時にも職工側は今後は從來より一層勉強して働きますと言つた位だ此度の原因はどうしても判斷に苦む、尤も二三日前人夫として雇つてる朝鮮人の中で餘り怠けるものがあるから五十人ばかり首を馘つた自分は其の述中ぢやないかと思つてる、朝鮮人は今の所八百餘人居るから彼等が騷いでも可なりに大きく傳へられやう、或は平生界も引つ掛けぬ普通の職工等も此際だから好い〳〵りとしてやつたのかとも思はれる、併し先づそんなことは無いと自分は信じて居る、勿論此の條件は彼等が要求した職々の條件增給問題は直ぐ實行したのもあるし、豫算の通過を待つて四月一日からとしたのもある、時間問題は八幡ばかり彼等の要求に直ぐ應じる譯にも行かぬから政府工場の者が協議した上何れになりと決定しやうと云ふことになつて居る、彼等は之を誤解として居たのだ、どう考へても私には大きなことゝは思はれない」と、例によつて至極納まつたものなり（東京電話）

餘りに無謀だ

中川次長昂奮して語る

『事業中止の外なし』

再び勃發したる八幡製鐵所全職工の罷業暴動に就て萬一の危險を避け本事務所長官室より階上の工務部長室に居を移したる中川次長は語つて曰く、職工側も餘り無謀極まると思ふ、議會が濟めば何とか方針が極まるといふ事を口が酸くなる程言つて聞かして置いたにも拘らず徒らに陰謀を逞うして暴徒化するのは向ふ見ずの甚だしきものである、製鐵所側としては勞友會提出の條件に對して既に許す權限内に於て職工側の意志を酌んで置いた筈であるから何度事を起しても直ぐ善後策を講ずるといふ事は出來ない應急手段としては作業を中止して職工を休業せしむるより外仕方がない（八幡電話）

長崎縣廳の火事

一部の消失にて鎭火

二十四日午前十時半長崎縣廳内教育課の屋根瓦の間より白煙を吐きつゝありしが忽ち之れに隣れる林業課の屋根裏よりも盛んに黑煙を吐き出せしより大騷ぎとなり警務課保安課詰の各巡査を初め縣吏員一同非常用水を開放して消防に盡せしも折柄西北の烈風にて容易に消止む能はず市内各警察署より消防夫全部驅附け屋根を破壞し天井内に水を注ぎたるも水利の便を缺けると建築物が高臺にある爲め消防意の如くならず殊に知事、内務部長共に不在の爲め縣廳内の混亂一方ならず一方縣廳に隣接せる江戸町附近は煙に包まれ危險刻々に迫る有樣なりしかば消防夫等は止むなく他に延燒せざる目的にて必死に努力し午前十一時半頃に至り風力減少せし爲め教育課及び林業課の天井、屋根の一部を燒失せしのみにて十二時十分鎭火せり、火勢の猛烈なりしに拘らず天井より室内に火の燃え下らざりし爲め書類及び器物等の燒失なく且つ出火の報を聞き縣立師範學校より學生全部驅附け消防に努めし爲め至大の便を得たり、廳内の階上階下は水を以て滿され混雜を極めたり原因は地下室小使室の煙筒の火氣よりなりとの噂もあり（長崎電報）

美術印刷帳簿製造

株券株式會社帳其他
特製簿記帳迅速
出來合帳簿卅餘種

永井日英堂

大阪西區北堀江通六
（營業所）
電話新町長 九二 一七 四八 九
一丁堀江營業所西ノ辻角
二丁堀江營業所裏通り

消防自動車列車と衝突

運轉手以下死傷三名

二十四日午前三時名古屋市外御器所村杉浦敬治方貝灰工場より出火の報を受け名古屋市中消防署の消防自動車を運轉手森光太郎（二十一）が操縱し消防曹長佐藤光丸（三十）消防手豐島末吉（三十）其他四名の消防手同乘即刻現場に駈らんと同三時十三分市内中區西川端町新堀川鐵橋西詰中央線踏切を越ねんとする時恰も千種午前三時五分發上り貨物七百八十三號列車が驀進し來り衝突し自動車はモンドリ打つて踏切番小屋に突入し森運轉手、佐藤消防曹長、豐島消防手の三名は何れも頭部其他に重傷を受け直に金城病院に擔ぎ込まれ應急手當を受けしが佐藤曹長は午前六時五十分絶命せり、尚乘組七名中四名の消防手は中央線踏切道路稍狹隘の爲御突の一分前自動車を下車し危難を免れたり（名古屋電話）

自棄になつた工場主

自家の倉庫に放火す

委託品を燒いて胡麻化さんとて

自白して收監さる

大阪府東成郡城北村字赤川岩田晒工場の工場内倉庫の一部より去る二十一日午前七時半頃出火し同倉庫に積みありし晒上げのクレープ襯衣數百打（時價三百圓）を燒失したるを附近の者が發見し懸命に消